

コミュニケーション能力と 作業療法

特集にあたって

作業療法において、コミュニケーション能力は重要なものである。精神障害のある方ばかりでなく身体的な障害のある方も、何らかのコミュニケーション能力に障害があることが多い。コミュニケーション能力を考慮した支援を展開していくことが、作業療法として中核的なアプローチとなる場合も多い。

長い間精神障害のある方を支援してきた筆者は、コミュニケーションが苦手な対象者が多くいらしたため、あり方を考えてきた。またこの30年のOT人生の中で、学生も多く指導してきた。学生の中には、対象者や指導者、職員とコミュニケーションがとれないことで悩む人も多かったと感じる。OTのもつべき技能として、コミュニケーション能力は重要なものである。

本特集は、OTにとって必要なコミュニケーション能力をさまざまな立場から整理し、障害別にコミュニケーションの特徴を示し、そのコミュニケーションの特徴に沿った作業療法のあり方を示す。対象者ばかりでなくOTとしての自分のコミュニケーション能力について考える、作業療法の原点に立ち返る機会としていただきたい。

本当にコミュニケーションは難しいと感じることが多い。しかし、コミュニケーションなしには人間は生きていけないことも確かである。いかに他者とのコミュニケーションを楽しめるか、これは多くの方々のテーマでもあると感じる。

(香山明美)

企画担当

香山明美 (宮城県立精神医療センター, 作業療法士)

竹内さをり (甲南女子大学, 作業療法士)

宮崎明美 (児童発達支援センター みどり学園, 作業療法士)